

恋都の狐さん



[恋都の狐さん_下载链接1](#)

著者:北夏輝

出版者:講談社

出版时间:2012-2-16

装帧:单行本（ソフトカバー）

isbn:9784062174855

“掟破り？” の第46回メフィスト賞受賞作！

「20年間彼氏なし」女子大生が狐さんに初恋!?

「本読みの達人」が絶賛！

「恋をするなら奈良。そんな気にさせられてしまうのだ、この小説は！」

——金原瑞人氏（翻訳家）

「生真面目＆ちょい天然な主人公が愛おしい！」

——瀧井朝世氏（ライター）

豆を手に入れば恋愛成就の噂がある、東大寺二月堂(とうだいじにがつどう)での節分の豆まき。奈良の女子大に通う「私」は、“20年間彼氏なし”生活からの脱却を願って、その豆まきに参加した。大混乱のなか、豆や鈴を手にするが、鈴を落としてしまう。拾ったのは、狐のお面を被った着流し姿の奇妙な青年。それが「狐さん」との生涯忘れえない、出逢いだった――。

作者介绍:

1986年、大阪府生まれ。大学院在学中。

「恋都（こと）の狐さん」で、第46回メフィスト賞を受賞。

目录: プロローグ

第一章 豆と鰯と無断外泊

第二章 飢えた狐にご用心

第三章 猿沢池に珍事あり

第四章 追憶の炎

エピローグ

・ ・ ・ ・ ・ ([收起](#))

[恋都の狐さん_下载链接1](#)

标签

梅菲斯特奖

日本

言情

日本文学

小说

原版

北夏輝

评论

一直以为梅赏是颁给推理小说的我实在是太愚蠢了。可是就算不颁给推理小说，为什么会是这本？难道这就是传说中的“吃惯了大鱼大肉所以也要来点清粥小菜”！？（其实这也是另一种程度上的重口味吧）总之这大概是梅赏的一次恶意卖萌（而且还不太成功）。p.s.好想去啊，奈良。

清新小言情，可惜没啥感情发展。女主是没谈过恋爱的大学生，在奈良遇到了一直戴着狐狸面具的男主，在观看一场场古都庆典的过程中渐渐喜欢上了他。人物太过单纯平板，没有足够冲突，唯一可圈可点之处是对奈良古都庆典的描述，当做旅游介绍手册来看倒是不错。

[恋都の狐さん 下载链接1](#)

书评

[恋都の狐さん 下载链接1](#)